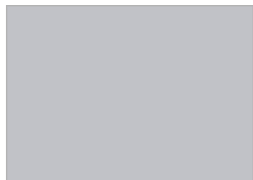


ダイバーシティの観点から、美に対する概念も大きく変わろうとしています。

今季は環境汚染や化学薬品を連想させる毒毒しい色が登場し、今季は前季よりも黄味よりの色が選ばれました。また、最近の不安定な政治や経済の状況を受け、癒しを感じさせるような色や、東京五輪を控え、元気になるような色にも注目が集まっています。

I. Hygge / ヒュッゲ



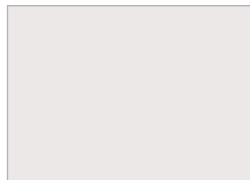
1. スモーキーパープル
(#C1C2C7)



2. マカロンブルー
(#85B5A9)



3. レースピンク
(#FCCFD5)



4. スノー
(#EDE8E8)



5. ココアホイップ
(#A88451)

II. Caramel / キャラメル



6. シュガーコーラル
(#FF6B54)



7. パーシモン
(#F0B216)



8. ブラッドオレンジ
(#FF6C00)



9. ストロベリー
(#D42000)



10. シナモン
(#7A5C00)

III. Poison / ポイズン



11. イエローウォーター
(#D9D200)



12. メタルイエロー
(メタリック)
(#ADB000)



13. ヒースグレー
(#808080)



14. デビルレッド
(#BA1C2C)



15. トキシックピンク
(#FC1E91)

IV. Forest / フォレスト



16. メタルブラック
(メタリック)
(#303030)



17. グリーンシャド
(#3D471E)



18. カシミアグリーン
(#247856)



19. アウタースペース
ブルー
(#0B0433)



20. デュビオスブルー
(#3F5975)